

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
放送芸術学院専門学校		平成23年12月28日	澤田 隆治		〒530-0042 大阪市北区天満橋1-5-9 (電話) 06-6242-5050		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人コミュニケーションアート		昭和63年4月1日	理事長 近藤 雅臣		〒550-0013 大阪市西区新町1-8-22 (電話) 06-6536-7161		
目的	本校は、教育基本法に則り、学校教育法に従い、文化・教養専門課程を設置し、そのもとで放送・音楽・芸能などエンターテインメント業界に従事しようとするものに、必要な知識、技能及び人間力を身に付け、社会に貢献できる人材を育成する。						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
文化・教養	専門課程	メディアクリエイイト科(昼間I部)		平成26年文部科学省告示第6号	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間		1800	0	3780	0	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員	専任教員数		兼任教員数	総教員数	
240人		253人	3人		6人	9人	
学期制度	<ul style="list-style-type: none"> ■1学期: 4月1日～9月30日 ■2学期: 10月1日～3月31日 ■3学期: 		成績評価		<ul style="list-style-type: none"> ■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験、出席状況にて評価を実施		
長期休み	<ul style="list-style-type: none"> ■学年始め: 4月1日 ■夏季: 7月21日～8月31日 ■冬季: 12月23日～1月7日 ■学年末: 3月14日～3月31日 		卒業・進級条件		出席率と試験点数により、進級、卒業に必要な単位を取得している。		
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 個人面談、保護者面談、三者面談		課外活動		<ul style="list-style-type: none"> ■課外活動の種類 同好会・サークル活動		
就職等の状況	<ul style="list-style-type: none"> ■主な就職先、業界等 放送、イベント制作会社、芸能プロダクションなど		主な資格・検定等		<ul style="list-style-type: none"> ■サークル活動: 有 JPPA映像音響処理技術者資格認定試験、色彩検定、秘書検定、MOS検定		
	<ul style="list-style-type: none"> ■就職率^{※1}: 100% ■卒業者に占める就職者の割合^{※2}: 85.3% 						
	<ul style="list-style-type: none"> ■その他 (平成27年度卒業者に関する平成28年8月31日時点の情報)						
中途退学の現状	<ul style="list-style-type: none"> ■中途退学者 13名 平成27年4月1日 在学者 247名 (平成27年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 234名 (平成28年3月31日 卒業者を含む)		<ul style="list-style-type: none"> ■中退率 5.3% 				
	<ul style="list-style-type: none"> ■中途退学の主な理由 学業不振、学校生活不適應、病気、経済的理由、進路変更						
	<ul style="list-style-type: none"> ■中退防止のための取組 個人面談、学費相談(分割納入や延期納入)、保護者面談、三者面談、補修、課題提出						
ホームページ	URL: http://www.oas.ac.jp						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

エンターテインメント業界において、人に感動や喜びを与えられることの出来るクリエイターとして即戦力を身に着けるよう、職業人教育を実施していくために、業界が必要とする人材を業界と共に育成する、産学協同教育システムという考えのもと、企業と連携した授業を実践している。

また、講師会などにおいて、業界、団体の方の意見や動向、要望などを取り入れ、授業内容の見直しや授業方

法の改善、工夫等を行っていく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年9月1日現在

名 前	所 属
谷 弘	協同組合 日本映像事業協会
堀内 俊	株式会社 トラッシュ
中西 正人	株式会社 キレイ
宮下 耕治	株式会社 セイ
竹田 昌広	有限会社 プランニングRYU
澤田 隆治	放送芸術学院専門学校
中川 喜広	放送芸術学院専門学校
山本 哲史	放送芸術学院専門学校
堀 亮平	放送芸術学院専門学校
兵頭 実	放送芸術学院専門学校

(開催日時)

第1回 平成28年9月16日 9:30~11:00

第2回 平成29年2月4日 (予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

3つの教育理念(実学教育・人間教育・国際教育)を掲げ、業界が求める人材を業界と共に育成する(産学協同教育)という考えのもと、業界の方から直接、学生が目指す職種に必要な知識・技術を指導

科目名	科目概要	連携企業等
進級制作	各科目で習得した技術・知識活用し、職種毎にチーム分けを実施。(制作・映像・音声・照明・美術等)各職種には企業よりプロの指導の下、技術はもちろん即戦力となる人間力・実践力を身につける。また、学内での制作だけではなく学外でのロケ技術や番組制作における技術・知識を修得する	株式会社トラッシュ、有限会社 テーク・ワンオーディオ、株式会社劇団往来
カメラワーク	テレビカメラ機材を含むスタジオ機材の使用手法と基礎技術及び知識を学ぶと共に、即戦力となる人間力を身につける。また、学内演習だけではなく学外でのロケ技術や番組収録における技術も修得する	株式会社トラッシュ
卒業制作	株式会社劇団往来の舞台監督の指導のもとステージ制作における道具使用方法と基礎技術及び知識を学ぶと共に、即戦力となる人間力を身につける。また、学内演習だけではなく学外にて演劇公演の大道具・セット制作、演出など修得する	株式会社 劇団往来

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

学園の定める教員研修規程において、教員の授業内容・授業技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めています。平成25年度においては、中途退学者防止に向けた「学生ひとり一人」に対する対応の企画立案・実施・評価というPDCAサイクルを実施することを年間の教育活動の中心に据え、ファカルティ・ディベロップメント活動を推進する専任教員に対し、以下の2つの要素が年間を通じた授業内容に反映されるよう研修を行う。

① キャリア教育の視点②ひとり一人を見ていく視点

さらに専任教員と兼任教員で組織する講師会議においてこの方針を共有し、授業内容のチェック、教育技法改善に向けた研修を実施している。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年9月1日現在

名 前	所 属
隅谷 啓太	フリーミュージシャン
宮井 陽子	保護者様
久徳 健三	大阪市北区堀川連合振興町会
易 寿也	大阪府立富田林高校 前学校長
堀内 俊	株式会社 トラッシュ
中西 正人	株式会社 キレイ
宮下 耕治	株式会社 セイ
竹田 昌広	有限会社 プランニングRYU

(学校関係者評価結果の公表方法)

[URL:http://www.oas.ac.jp](http://www.oas.ac.jp)

5. 情報提供

(情報提供の方法)

[URL:http://www.oas.ac.jp](http://www.oas.ac.jp)

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程メディアクリエイイト科昼間Ⅰ部・Ⅱ部) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			コンピュータ	コンピューターを使用する上で、必要となるネットの基礎になる知識と「Word」「Excel」「PowerPoint」などofficeソフトを中心に学びます。	1通	60	4	○			○			○	
○			ビジネスマナー	社会人としてのビジネスマナースキルを養い、プロの現場に活かします。	1通	60	4	○			○			○	
○			コミュニケーション技法	コミュニケーション能力の向上を目的に、自己表現・社会的スキル、サービスマインドなどを学ぶと同時に就職活動でも応用できる技術を学びます。	2通	60	4	○			○			○	
○			放送業界基礎知識	放送業界・音楽業界はもちろんエンターテインメントにおける職業と、作品制作・コンサート運営のプロセスを学びます。	1通 2通	120	8	○			○			○	
○			演技・演出	ディレクター・監督の職業を理解し、作品制作における演出の基礎とその方法を学ぶ。	1通	60	4	○			○			○	
○			演劇・映像史	演劇映像・音楽史を学び、業界の知識を身につけます。	1通	60	4	○			○			○	
○			番組・イベント企画	テレビ・ラジオ・イベント企画構成法を学ぶと共に、プレゼンテーション技法を学びます。	1通 2通	180	12	○			○			○	
○			マーケティング&プレゼンテーション	エンターテインメント業界で必要なマーケティング力を学ぶとともにプレゼンテーション技法も学びます。	2通	60	4	○			○			○	
	○		コンピュータ・デザイン	コンピュータの基礎知識をベースに、デジタルソフトを使用し制作・デザインを通じてその技法を学ぶ。	1通	60	4	○			○			○	
		○	カメラワーク	テレビカメラ機材を含むスタジオ機材の使用方法和基礎技術及び知識を学ぶと共に、即戦力となる人間力を身につける。また、学内演習だけではなく学外でのロケ技術や番組収録における技術も修得する。	1通	60	4	○			○	○		○	○
		○	スタジオワーク	番組制作・放送・音楽などのスタジオ内における、職種内容と業務内容を学びます。	1通	60	4	○			○			○	

○	マネジメント演習	タレント・アーティストのマネジメント法やオーディション運営、新人開発法などを学ぶ。	2通	240	16		○	○	○					
○	就職対策講座	就職活動を実施する上で必要な、企業リサーチ法、履歴書・エントリーシートの書き方・模擬面接など就職内定を獲るための対策を学ぶ。	1通	60	4		○	○	○					
○	業界研修	業界現場である各企業で、実際の仕事を体験し、自己研鑽の場とすると共に、就職活動に役立てます。	2通	240	16		○	○	○					
○	進級制作	各科目で習得した技術・知識活用し、職種毎にチーム分けを実施。（制作・映像・音声・照明・美術等）各職種には企業よりプロの指導の下、技術はもちろん即戦力となる人間力・実践力を身につける。また、学内での製作だけではなく学外でのロケ技術や番組制作における技術・知識を修得する。	1通	120	8		○	○	○				○	○
○	卒業制作	2年間で身につけた技術・知識の集大成として、卒業研究論文に取り組み、発表します。卒業するために必須単位となります。	2通	120	8		○	○	○				○	○
合計			31科目			3,780単位時間(252単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
2年間で114単位（1,800時間）以上を修得した者で、卒業認定された者	1学年の学期区分	前期・後期	
	1学期の授業期間	15週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。